

2025年度 すくわくプログラム ポピンズナーサリースクール馬込 【9月】活動報告書

【活動テーマ/テーマ設定背景】

- テーマ：各国の文化について、図鑑を通して学ぶ
- 設定背景：世界の国について興味を持ち、各国ではどのような文化があるのか気になっていた

【活動のために準備した素材や道具、環境の設定】

- ・世界の国ぐにの図鑑を用意する
- ・お子様が気になった国の写真をいくつか用意し、関心が持てるようにする
- ・地球義や国のクイズ絵本も用意する

【活動内容/お子さまの声や姿や保育者との関わり】

- ①気になる国を一つ、グループで決める
- ②気になる国の写真をいくつか見て、友だちと文化を想像する
- ③グループディスカッションで話し合った内容を発表する
- ④世界の国ぐに図鑑を通して、各国の文化について学ぶ

気になる国について話し合う場面では「ブラジルがいい」「ケニアとかどう？」などと、友だちと相談しながら興味のある国を決めていた。国旗の模様などをきっかけに関心を持った国を保育者に伝え、それを受けて保育者が写真を数枚印刷し、提示した。写真を見ながら再び話し合いの場を設け、「どんな国だと思う？」と声をかけることで、お子様たちはその国の文化へ興味を深めていった。話し合いの後には実際に図鑑を見て、友だちと「この国では女の人は髪の毛を隠さないといけないんだね」「いまも戦争している国なんだって」などと、感じたことを語り合っていた。さらに、世界地図を広げ、国と国との距離にも関心を持ち、調べる姿が見られた。



【振り返りをふまえた気づき】

今回の活動では、お子様がその国の文化について自分なりに想像し、考える姿が見られた。日本とは異なる文化への気付きが生まれ、友だちと伝え合うことにより、友だちの意見も理解しようとする協同性が身についてきているのではないかと感じた。宗教については理解が難しい様子であったが、その国ではそれが当たり前であることに気付き、お子様たちなりに受け入れようとする姿勢を感じられたため、多様性を理解しようとする心が育まれていると感じた。